団欒も楽 三ゥ 代ょ |に | | | | | りて りし 記念祭 この寮に 恵迪寮 一世いっせい き

自今は女子 歳を重ねて 男子らは 恵はないと は

一夜に なりし 励けみ 探求むなり 理り想き など

高ラティ

若が憩と 別ない はいがった と 拓きたる ゟ 野は 柳なぎ ビル 何ぃ 処こ の合作

不に伝う とな

紳士道と

りし

楡ポプラ

几

共に過せし 魂 こ っ に触れし にも希なる 思い出で 若き日の 楽^たの ひみは を

Ŧi.

寮友らと語

る

この時ぞ

歌にというない。我らが寮歌に始皇夢むは その青春をい継がれて ば 千万世 尚なお 創っく り に わ な Ā